



プロジェクト名称 【参加人数： 名】

## 大宮駅東口商店街イルミネーション化計画

[http://www.sawadalab.se.shibaura-it.ac.jp/omiya\\_illumi\\_hp/top.html](http://www.sawadalab.se.shibaura-it.ac.jp/omiya_illumi_hp/top.html)

活動概要・目的 【活動期間： 2012 年 5 月 1 日 ～ 2013 年 3 月 2 日】

本プロジェクトは、大宮駅東口の商店街に学生が考えたイルミネーションを施すことで、商店街を活性化することを目的とした活動です。2006年度から始まり、6年目の今年度は「願い星～天の川～」をテーマとし、商店街の賑わいを暗い大栄橋へと引き込むことを目標に新たなイルミネーションを企画しました。また、今年度もイルミネーション活動から派生し、商店街と連携したイベント活動等を積極的に行うことで、街の様々な意見を発見し、イルミネーションの方法、デザインに反映させていきました。

### 年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
5/1	話し合い	大学 ゼミ室	今年度のイルミネーションのメンバーと役割を決定・昨年度のイルミネーションの反省。
5/8	話し合い	大学 ゼミ室	方針前年の「他人実現」と「集中」を踏襲。方針決め「天の川」イルミの更新案に決定。春野イルミネーションを計画
5/15	話し合い	大学 ゼミ室	学生プロジェクト申請の為の作業。
5/22	話し合い	大学 ゼミ室	アイデアコンペ実施に関しての検討会議。
5/29	アイデアコンペ実施	大学 実験室	アイデアコンペを実施し、イルミネーション作品を募る。
6/5	アイデアコンペ作業	大学 ゼミ室	アイデアコンペ提出に向けての作業期間
6/12	話し合い	大学 ゼミ室	春野イルミネーション実施に向けての企画作業
6/19	話し合い	大学 ゼミ室	春野イルミネーション実施に向けての企画作業
6/26	現地調査	大宮東口商店街	大宮でのイルミネーション設置箇所調査・計測作業
7/3	話し合い	大宮東口商店街	大宮にてイルミネーションの企画検討会議。
7/10	話し合い	大学 ゼミ室	大宮イルミネーションのデザインアイデアの検討
7/17	話し合い	大学 ゼミ室	春野イルミネーション実施に向けてのテーマ決め



## 年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
7/24	話し合い	大学 ゼミ室	春野イルミネーションの制作内容の決定。 大宮イルミネーションのデザインの決定
7/31	話し合い	大学 ゼミ室	大宮イルミネーション材料購入についての見積もり 、完成パースの作成
8/25	話し合い	大学 ゼミ室	春野イルミ制作方法の検討
8/28	制作スタディ	大学 ゼミ室	春野イルミ制作スタディ
9/7	話し合い	大学 ゼミ室	大宮イルミネーションの設計、施工方法検討
9/14	宮一サミットの方への提案内容プレゼン	大宮東口商店街	宮一サミット理事長栗原氏への提案内容のプレゼン
9/21	大宮フリーマーケット準備	大学 ゼミ室	パネル、展示品の検討
10/9	大宮防災訓練	大宮東口商店街	大宮の街の方・店主の方との連携を深める。
10/16	イルミネーション最終確認	大学 ゼミ室	商店街の方の同伴でイルミネーションの点灯実験 を行い、商店街の方々と最終確認を行った。
10/20	大宮フリーマーケット	大宮東口商店街	2012年イルミネーションプロジェクトの内容を制作 し、町の方へのご意見を伺う。
11/3	まちづくり交流展	志木市	建築学会主催の志木市で行われた地域交流展に 参加し、イルミネーションのPR活動を行った。
11/7	イルミネーション安全性 実験	大宮東口商店街	前回の実験から素材を改善し、より安全を確保す るための実験を行なった。
11/9～ 11/19	イルミネーション制作	大学 ゼミ室	これまでの計画に基づき、設置前にイルミネーシ ョンの製作作業を行った。
11/23～ 11/27	イルミネーション設置	大宮東口商店街	製作したイルミネーションの設置作業。学生66名で 商店街中に設置を行った。
11/30	点灯式	大宮東口商店街	大宮商店街において、地域の方々に見守られなが ら点灯式を無事迎えた。大宮アルディージャ関係 者や大宮区長も参加した。





## プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

今年のイルミネーションは、「ひと気のない大栄橋に銀座通り商店街の賑わいを引き込むこと」を目標に、例年よりもデザイン性を重視したイルミネーションを行いました。賑やかな商店街から大栄橋へと人を誘う提灯型のイルミネーションに加え、「宮色フィルム」と名付けた青とオレンジの透明フィルムに大宮東口商店街の地図を表現した、巨大イルミネーションを大栄橋に設置し、街の人が観に来るイルミネーションとなるように工夫しました。実際に点灯してみると、多くの方が地図イルミネーションの前に立ち止まり「イルミネーションを楽しみながら、商店街の新しいお店を発見できた」や「通りが明るくなり、歩きやすくなった」など目標が様々な形になって達成でき、イルミネーションによって街の問題を解決することができるという新たな発見を今回のプロジェクトによって発見することができました。

## 受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

建設通信新聞、大宮経済新聞、ザ・しょうてんin大宮

## プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

### ■チームとして成長したこと

- ・こまめに報告書や会議をチーム内で行うことにより、情報共有を意識的に行った。
- ・自由なアイデアを取り入れることで、新しいイルミネーション提案をすることが出来た。
- ・現場で何度もスタディをし、作品や安全性としての精度を上げることが出来た。
- ・「FACE TO FENCE」実現化計画とコラボレーション企画をおこなうことで、小学生を対象としたまちづくりを学ぶことが出来た。
- ・地域のまちづくり新聞に積極的に記事を掲載することで、地域活性化という活動の根幹を再認識することが出来た。
- ・現場作業中も商店街の方々に頻りに声を掛けて頂き、活動が地域に浸透していることを強く実感することが出来た。

### ■感動や印象に残っていること

- ・大宮で行われたフリーマーケットや商店街の防災訓練など地域の活動に参加しながら、何度も街の人と交流する中で、かっこいいデザインを提案するだけでなく、実際に交流した人たちが喜んでくれるようなイルミネーションにしたいと思うようになり、建築設計を学ぶ者として街の声を大切にしたいと思う気持ちがより強くなりました。
- ・志木市で行われたまちづくり交流展に参加した際、介護施設の方に「志木市でも学生が活発に待ちの中で活動して、イルミネーションでお年寄りのまちを活気づけてほしい」という言葉を頂き、学生が街の中で元気にふるまうことの重要性を感じました。

### ■反省、今後の展望

- ・今年度作成したイルミネーションと同等のデザイン性や安全性を保持しながらも、更に商店街の人々の意見が反映されるような設計プロセスや成果物を提案したいと思います。
- ・チーム内での報告、連絡、相談を徹底し、モチベーションや作業把握にばらつきが出ないようにします。

## プロジェクト活動写真

### ■今年度の活動



設置場所の計測



イルミネーションデザインの試作・検討



大宮フリーマーケットでの広報活動



まちづくり交流展への参加



志木市の人々へのプレゼン



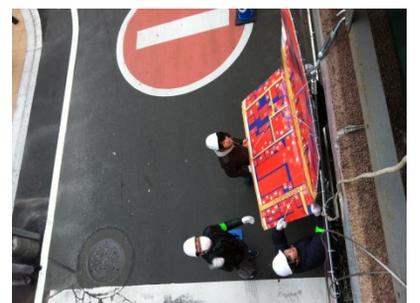
点灯式に向けての制作



光量のチェック



イルミネーション設置①



イルミネーション設置②



点灯式の模様



集合写真



定期点検